

良い縁を迎えるために

広島県 少林寺 住職 峯岡徳彦

私が高校三年生の時、校長先生による特別授業がありました。校長先生は「これから、みなさんは多くの人と出会いますが、もし結婚をするなら、何歳の時にどんな人と結婚するでしょうか」と質問されました。男子生徒が「二十五歳の時、同じ会社で出会う、同い年の人と結婚します」と答えました。

校長先生はニコニコしながら「楽しみですね。でも、今はみなさんの運命の人が誰かはわかりません。確実に言えるのは、みなさんの運命の人が、かりに同い年であるのなら、その人は今、この地球のどこかで、あなたと同じ十八歳として生きていますよ」と言われました。そして「みなさんは、その運命の人に、今をどのように生きていてほしいですか」と質問されました。女子生徒が「勉強でも、部活動でも、何でもいいので、何かを一生懸命がんばってほしいです」と答えました。

それを聞いた校長先生は、静かに頷きながら「みんなそうですよ

ね。であれば、みなさんの運命の人と同じように、みなさんに、今を一生懸命生きてほしいと願っています。出会いを、人間の力で変えることはできません。でも、出会いを良いものにするための準備はできるのです。その準備とは、今を一生懸命生き、自分を磨いていくことです。結婚だけでなく、多くの人や多くの出来事との出会いを、良い出会いにするために、魅力的な自分になっていきたいですね」とおっしゃいました。

この校長先生の話が、縁との向き合い方について、私の考え方を变えてくれました。そして「これから生きていく中で、困難を恐れず、喜びに感謝し、今を一生懸命に進んでみよう」と思えるようになりました。時には、がんばる力が湧いてこない時もありますが、そんな時、いつも校長先生の言葉が、私を助けてくれます。「良い縁を迎えるために」は、自分の力も必要です。